

幼稚園・小学校でのボランティア



[現地の子どもたちと]

■ 山岳少数民族の幼稚園、小学校でのボランティア

山岳少数民族の子どもたちが通う幼稚園、小学校でボランティアをしました。午前中は幼稚園と小学1年生のクラスの二手に分かれての活動です。歌遊びやゲーム、塗り絵、折紙など、日本の遊びを体験してもらい、良いコミュニケーションの場となりました。

午後は小学校高学年の生徒との交流会です。ここで本校中高部の全校生徒に呼び掛けて集めて持参した文房具を生徒の皆さんに手渡すことができました。日本に少しでも興味を持ってもらえたら嬉しく思います。

今回集めて持参したご寄付は文房具でしたが、洋服や必要なものを買う募金を集めることで、学校に通う子どもたちがより良い教育を受けられるようになるのではないかと思います。



アパ村

アカ族・アパ村で高床式の家にホームステイ

■ 朝4時過ぎにニワトリや豚の鳴き声で目覚めます

4日目からは山岳少数民族アカ族の家庭でホームステイが始まりました。大学生と共に高校生は1名ないしは2名のグループで各家庭に分宿します。最初は緊張していた生徒たちも、温かいもてなしを受け、すぐに打ち解けて笑顔で過ごしていました。家庭料理もとてもおいしくてつい食べ過ぎるほどです。

夜は、朝の雨が嘘のように止み、星空のもとキャンプファイヤーをすることができました。民族衣装を着せてもらい、火を囲んで村の女性たちと共に歌い踊ります。この踊りは女性たちだけで行う伝統的なものです。村人の歌声と炎のはぜる音、手を取り合い踊る女性の姿は何とも言えず厳かな空間を作り上げ、誠に印象深い時を過ごしました。



[キャンプファイヤーと伝統的な踊り]

■ 村の方々と懇親会・工芸品作り体験

5日目午前中は、アカ族の村人との懇親会が開かれました。村の歴史や伝統、近年の変化についての話を聞くことができました。生徒は躊躇することなく手を挙げて質問をし、挑む姿勢と度胸がついてきました。

午後は村人から伝統的な手工芸を習いました。女性からは刺繍や木の実を使ったプレスレット作りを、男性からは竹細工(コップや指輪、籠作り)を習います。

たくさんの部族がある中でもアカ族の女性は器用で、素晴らしい刺繍技術を持っていることで有名です。ミラー財団ではこの技術を活かしてフェアトレード商品を作り収入を得るといったプロジェクトに取り組み、着実に成果をあげています。生徒たちは自分から教えてくださる方に声をかけ積極的にチャレンジしていました。



[工芸品作り体験]



カレン族の村・チェンライの町とナイトバザール見学



[カレン族の村にて]



[ナイトバザール]

■ カレン族の村を訪問

象と共に生きてきた民族・カレン族の村を訪問しました。以前は伐採した木材を象で運んでいましたが、現在は森林伐採が法律で禁止されているため、観光客に向けた仕事を行っています。私たちも象に乗り村を一回りし、餌をあげる体験もさせてもらいました。今回も私たちに同行して指導をしてくださっている興梠先生から「象の保護には大変経費がかかるので、象に乗ったりする観光もボランティア活動の一部で大切である」と教えていただきました。象と共生して生きてきたカレン族の生活を垣間見ることができました。

■ チェンライの町とナイトバザール見学

チェンライの町は、ゆったりとした時間が流れていた山岳部とは全く異なり、活気と物に溢れ、舗装された道にたくさんの車、コンクリート造りの家が並びます。タイの伝統的な焼き菓子も売られています。

夕食後にナイトバザールを訪れました。市場もとても賑やかです。研修の最後に、現地の人と触れ合う機会となり、人と活気に溢れるチェンライを肌で感じるすることができました。

フェアトレードショップ見学・研修のまとめ

■ フェアトレードショップ見学

ミラー財団に戻って、山岳少数民族支援活動の一貫として行っているフェアトレードショップを見学しました。実際に商品を買うことで、日本に帰ってからもフェアトレードをより身近に考えることができました。

フェアトレード商品を買うことは身近な国際協力で、NGO や企業が途上国の方々にフェアトレード商品の作成を依頼することは、現地の人々が負のスパイラルから抜け出し、良い循環に代わっていききっかけになっています。さらに、生活の向上だけでなく女性の社会進出も可能にしています。

■ 研修のまとめ

最終日は、ミラー財団のスタッフの伊能さくらさんが生徒のために質問時間を設けてくださいました。昨年まではそのような時間が取れずに、生徒たちは多くの疑問を抱えたまま帰国していました。毎年の積み重ねが現地での研修の取り組みの深化に繋がっていることをあらためて認識する機会となりました。この時間を活かそうと生徒たちも積極的に質問していました。

生徒の感想から：研修を通して教育の重要性を再認識しました。貧困や無国籍問題により、十分な教育を受けられないと、文字が読めない、計算ができない現実に直面します。注意書きが読めないと危険な状況に陥るなど不利益を被ることになるので、教育は命を守る大切なものだと実感しました。日本では学ぶ環境があり、そのことに感謝していきたいと思いました。今後、私たちにできることを検討し発信していきます。



[修了証書を受け取って]

